

## 1. 水稻品種「あきさかり」の奨励品種採用

### 1. 背景とねらい

「食の外部化」に伴い外食・中食産業には、安価な米の安定的な供給が求められています。一方、米生産者からは丈が低く栽培しやすい「コシヒカリ」の熟期に近い多収品種の早急な選定が要望されてきました。このため、優良品種選定試験において、この要望にあった品種の選定を進めてきました。

### 2. 成果の内容

外食産業向け品種として、福井県農業試験場が育成し、2011 年に品種登録された「あきさかり」を選定し、2014 年度より奨励品種に採用します。

この品種の「コシヒカリ」に比較した特徴は次のとおりです。

- 1) 熟期は、5 日程度遅く「早生の晩」に属し、稈長(丈)は 20cm 近く短いため倒伏(倒れること)しにくく栽培しやすい品種です(表 1, 2)。
- 2) 標準施肥量(総窒素量 7kg/10a)で栽培した場合の当センター内圃場(標高 224m)での収量性は、やや劣る(表 1)こともありますが、現地試験(総窒素量 10kg/10a)では 10%程度の多収を示しています(表 2)。
- 3) 玄米品質は同程度と思われませんが、福山での現地試験では 3 等であることから、登熟期間が非常に高温になる南部地域では、品質の低下が懸念されます(表 1, 2)。
- 4) 広島県穀物改良協会が中北部で行った展示圃では、「短稈で栽培しやすく、多収」との評価でした。また、全農広島県本部が行った食味試験結果は「コシヒカリ」に近い食味であり、試行販売の結果も良好です(データ省略)。

### 3. 利用上の留意点

- 1) 本県の標高 150～500m が適地です。本品種の詳細な多収栽培法については、今後明らかにする予定です。
- 2) 農業法人及び大型農家を中心に、2015 年に 2,000ha の普及を図ります。

(栽培技術研究部)

## 4. 具体的データ

表 1 「あきさかり」の優良品種選定試験における成績

品種名	試験年度	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	倒伏 <sup>1)</sup>	穂数 (本/㎡)	精玄米重 <sup>2)</sup>		千粒重 (g)	等級 <sup>3)</sup>	食味官能評価 <sup>4)</sup>	
							(kg/a)	対比(%)			外観	総合
あきさかり	2008	7.31	9.10	70	0.0	359	49.4	101	24.2	1中	0.44	-0.06
	2013	8.02	9.15	78	2.0	481	57.9	90	22.1	2下	-0.20	0.20
	平均	8.01	9.13	74	1.0	420	53.7	95	23.2	2上	0.12	0.07
コシヒカリ	2008	7.29	9.09	90	2.5	355	49.0	100	22.8	1下	0.00	0.00
	2013	7.29	9.06	95	4.0	391	64.1	100	22.7	3中	0.00	0.00
	平均	7.29	9.08	92	3.3	373	56.6	100	22.8	2下	0.00	0.00

広島県立総合技術研究所農業技術センター(標高 224m)での試験結果

1) 倒伏は 0:無 ~ 5:甚 の6段階評価

2) グレーダーの篩目は1.8mmを使用。精玄米重の対比は、標準品種を100とした場合の比。

3) 等級は広島県JA農産物検査協会調べ。各等級をさらに上・中・下に区分した10段階評価。

4) 食味官能試験での総合評価:標準品種を0として、-5~5で評価。

表 2 「あきさかり」の現地適応性試験における成績

試験年度	品種名	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	倒伏 <sup>1)</sup>	穂数 (本/㎡)	精玄米重 <sup>2)</sup>		千粒重 (g)	等級 <sup>3)</sup>	食味官能評価 <sup>4)</sup>	
							(kg/a)	対比(%)			外観	総合
2011	あきさかり	8.03	9.13	80	1.0	306	66.0	115	22.5	1中	0.00	-0.36
	コシヒカリ	7.30	9.10	98	4.0	346	57.3	100	21.8	1中	0.00	0.00
2013	あきさかり	8.12	9.25	76	0.0	311	57.0	106	20.7	3下	0.00	0.44
	ヒノヒカリ	8.24	10.08	84	0.0	340	53.8	100	21.3	1下	0.00	0.00

2011年は広島県三次市小田幸町(標高 170m), 2013年は福山市神辺町(標高 15m)での試験結果

精玄米重対比と食味官能評価の対照品種は、2011年が「コシヒカリ」、2013年が「ヒノヒカリ」

他の注意事項は表1に同じ。



図 1 「あきさかり」の草姿と玄米

玄米は透過光で撮影